

京都府漁海況情報

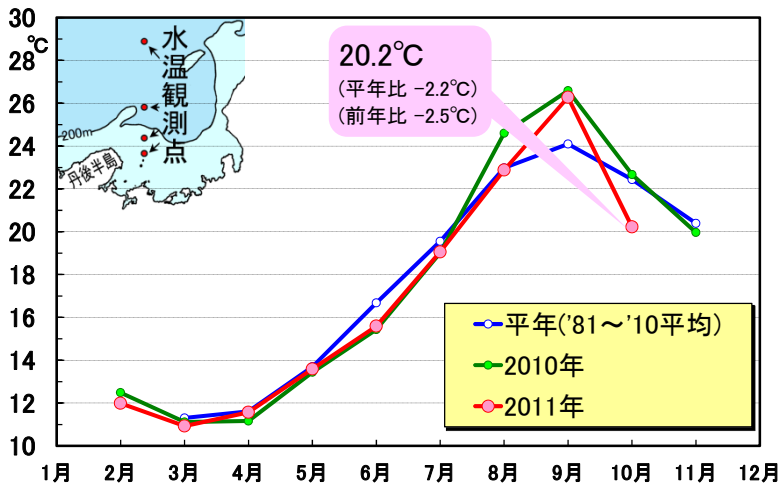
京都府農林水産技術センター海洋センター 海洋調査部
<http://www.pref.kyoto.jp/kaiyo/>
 電話：0772-25-3078 FAX:0772-25-1532

海の状況

【現況】

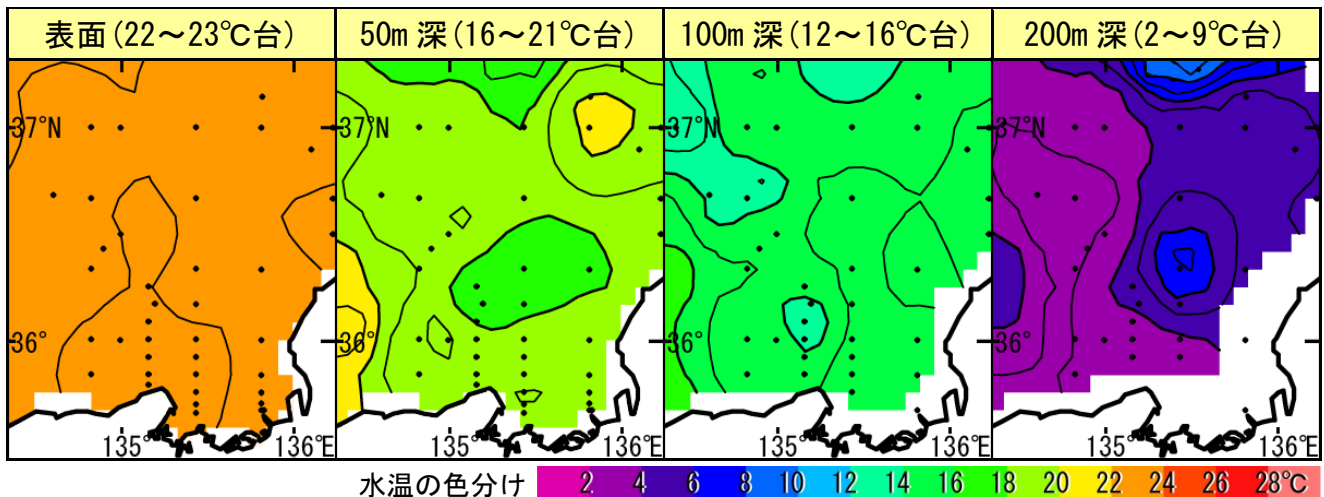
10月上旬における京都府周辺の表層水温は、平年より低めで推移していました。

京都府沖の表層水温(0~50m 深平均)



京都府周辺の各層水温(2011年10月上旬)

資料元：(独)日本海区水産研究所



【今後の見込み】

資料元：気象庁、(独)日本海区水産研究所

向こう1か月程度の予報	
京都府周辺の表層水温	「平年並み」で推移する見込み
対馬暖流の勢力	「平年より強め」で推移する見込み
沖合からの冷水域の張り出し※	「平年よりやや弱め」で推移する見込み

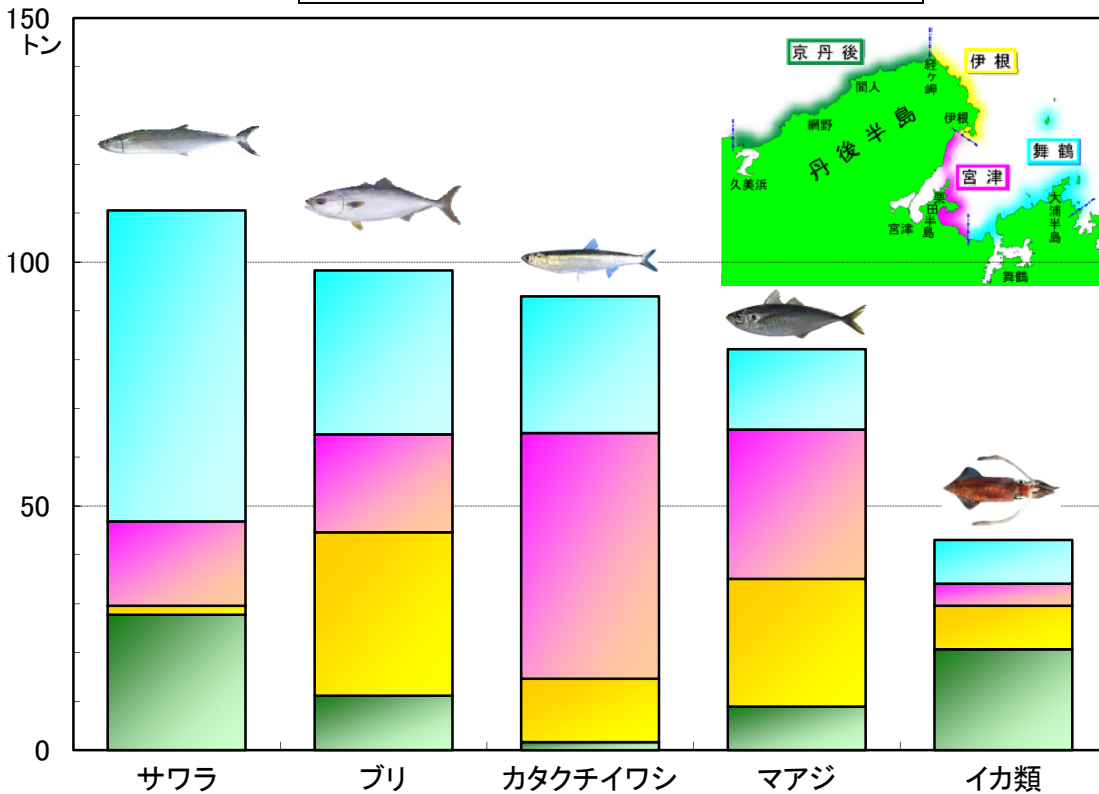
※冷水域の張り出しが強いと、対馬暖流域に生息するブリなどの浮魚類が沿岸に来遊しやすいと考えられています

漁模様 ～2011年9月～

【定置網漁業】

サワラやマアジなどがやや低調で、全体の水揚量は平年の6割でした。

2011年9月の地域別漁獲量(上位5魚種)



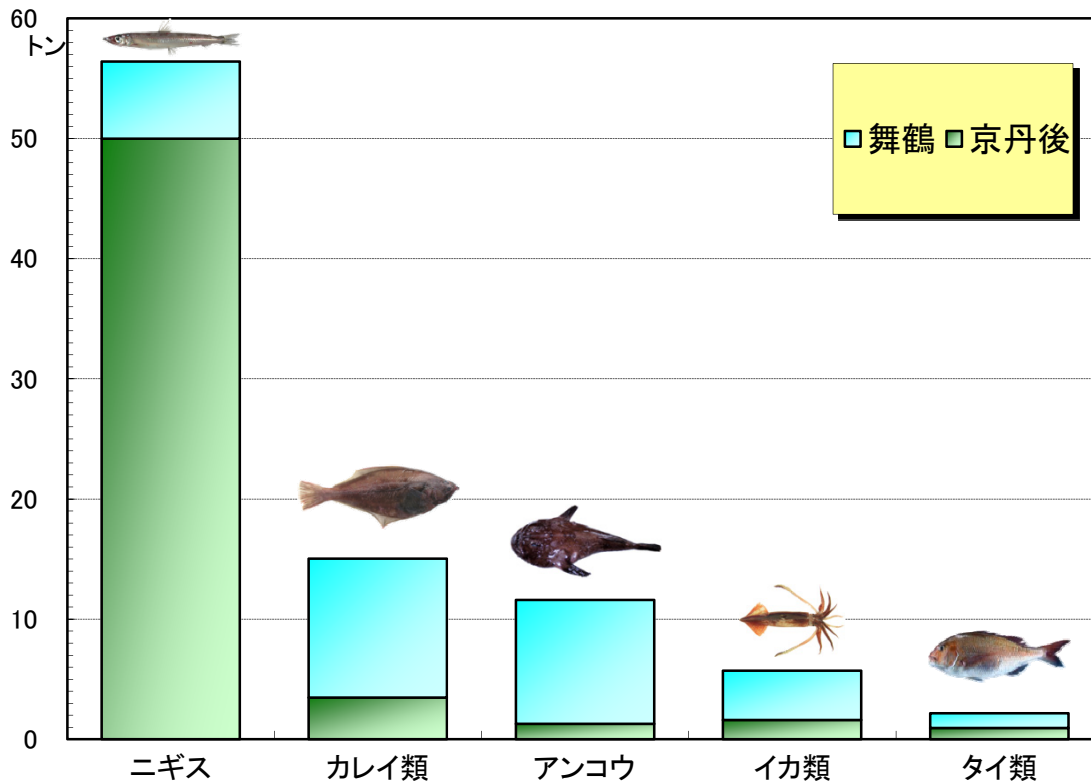
9月漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2011年	2010年(前年比)	平年(平年比)	備考
サワラ	110.5	277.5 (40%)	277.2 (40%)	<サワラ> さごし銘柄(尾さ長 35～45cm 級中心)が約 8 割、さわら銘柄(60cm 台中心)が約 2 割でした。
ブリ	98.3	52.2 (188%)	137.5 (71%)	<ブリ> つばす銘柄(尾さ長 25～40cm)が 9 割弱、はまち銘柄(47～57cm)が約 1 割、まるご銘柄が若干量でした。
カタクチイワシ(たれ)	93.0	114.6 (81%)	122.6 (76%)	<カタクチイワシ> 小たれ(体長 4～7cm)が漁獲の中心でした。
マアジ	82.1	24.7 (332%)	176.2 (47%)	<イカ類> ケンサキイカ(白いか)が 29.7 トン、アオリイカ(秋いか)が 12.2 トンなどでした。
イカ類	43.0	32.4 (133%)	19.1 (225%)	<ウルメイワシ> 体長 8～14cm の若魚が漁獲の中心でした。
ウルメイワシ(どうきん)	38.5	0.7 (5414%)	5.3 (723%)	
カマス類	30.5	80.6 (38%)	37.3 (82%)	
シロサバフグ(さんきゅう)	19.1	39.9 (48%)	21.7 (88%)	
シイラ	15.6	86.6 (18%)	85.6 (18%)	
サバ類	12.5	3.1 (403%)	11.0 (113%)	
その他	59.3	90.3 (66%)	104.8 (57%)	
合計	602.5	802.6 (75%)	998.4 (60%)	

平年は過去 10 年平均

【底曳網漁業】

6月～8月の休漁を経て9月より操業再開です。全体ではほぼ平年並みの水揚げでした。

2011年9月の漁獲量(上位5魚種)

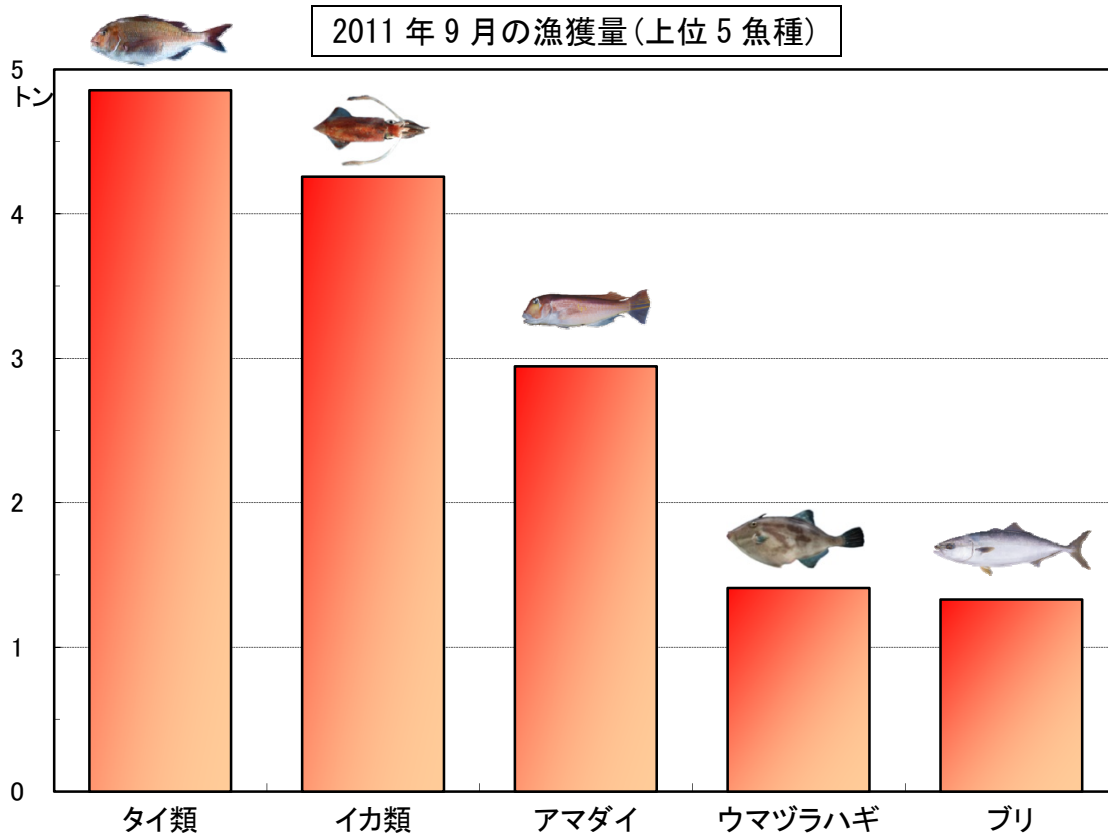


9月漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2011年	2010年(前年比)	平年(平年比)	備考
ニギス(沖きす)	56.4	32.6 (173%)	55.6 (101%)	<カレイ類> ヤナギムシガレイ(ささがれい)が6.0トン、ムシガレイ(水がれい)が3.6トン、ソウハチ(えてがれい)が2.7トン、アカガレイ(まがれい)が1.8トン、ヒレグロ(黒かれい)が0.3トンなどでした。
カレイ類	15.0	20.3 (74%)	23.8 (63%)	
アンコウ	11.6	13.4 (87%)	11.2 (103%)	
イカ類	5.7	2.7 (213%)	2.6 (221%)	
タイ類	2.2	1.6 (138%)	2.4 (88%)	
タコ類	1.3	1.3 (99%)	2.5 (53%)	
ハタハタ	0.9	1.4 (61%)	2.1 (43%)	
エビ類	0.6	0.4 (170%)	0.2 (307%)	
カナガシラ	0.5	0.3 (145%)	0.8 (61%)	
メバル類	0.5	0.5 (88%)	0.4 (129%)	
その他	6.3	9.2 (68%)	6.6 (96%)	
合計	101.0	83.7 (121%)	108.2 (93%)	

平年は過去10年平均

【釣り・はえなわ漁業】

イカ類などが少漁で、全体の水揚量は平年の6割強でした。



9月漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2011年	2010年(前年比)	平年(平年比)	備考
タイ類	4.9	5.9 (83%)	4.6 (106%)	<タイ類> マダイが約6割, レンコダイが約4割, クロダイとチダイが若干量でした。 <イカ類> ケンサキイカ(白いか)が3.4トン, スルメイカが0.4トン, ソデイカ(たるいか)が0.3トン, アオリイカ(秋いか)が0.2トンなどでした。
イカ類	4.3	3.4 (124%)	13.5 (32%)	
アマダイ(ぐじ)	2.9	2.9 (102%)	3.3 (89%)	
ウマヅラハギ(長はぎ)	1.4	3.7 (38%)	1.9 (72%)	
ブリ	1.3	0.5 (256%)	1.4 (97%)	
メバル類(もいお)	1.3	0.8 (158%)	0.8 (153%)	
サワラ	0.6	1.1 (53%)	0.9 (63%)	
メダイ(たいしょうお)	0.2	—	0.4 (57%)	
マアジ	0.2	0.4 (56%)	0.5 (44%)	
カワハギ(丸はぎ)	0.2	—	—	
その他	2.2	1.6 (138%)	2.8 (77%)	
合計	19.4	20.3 (95%)	30.2 (64%)	

平年は過去10年平均

【トピック ～ズワイガニと寒ブリ～】

丹後の冬の味覚，ズワイガニと寒ブリの今シーズンの資源状況(推定)です。

<ズワイガニ>

カニ漁の解禁を11月6日にひかえ，8月下旬から10月上旬にかけて海洋調査船「平安丸」でカニかごを用いた丹後沖の資源調査をしました(下の写真)。**今年の採捕状況は，過去5年の平均と比べると，雄ガニ(甲幅9cm以上)が123%，雌ガニ(こっぺ)が104%**でした。

底曳漁業者の皆様におかれましては，持続的な好漁のため未成体(雄は甲幅9cm未満，雌は7cm未満)や水ガニ(雄)，アカコ(雌)の保護をお願いいたします。



<寒ブリ>

日本海北部に分布する大型ブリのうち，漁獲の中心になるとみられる2008年産まれの3歳魚(体重10kg前後)の資源水準は中位，2009年産まれの2歳魚(体重6kg前後)は高位です(富山県水産研究所調べ)。

12月までの対馬暖流域の50m深水温は平年並み，沖合からの冷水域の張り出しはやや弱めで推移する見込みです(日本海区水産研究所調べ)。予測どおりの海況で推移すれば，日本海北部や若狭沖からの大型ブリの南下が沖側にやや分散することも考えられます。

資源や海況の見込みなどから，**今年度下半期の大型ブリの定置網漁獲量は近年並み※～やや少なめ**と予想しますが，昨シーズンのように好漁で各浜がにぎわうことを期待しております。

※過去10年平均 93トン

